

平成 31 年度 実証機関申請書類の改訂のポイント

1. 改訂の目的

分野見直し及びテーマ自由枠小委員会等において、「実証機関に求める申請書」が膨大であり、抜本的な見直しの必要性についての意見があった。今回、簡素化することを目的として、実証機関選定のための申請書の改訂を行う。なお、平成 31 年 2 月に募集する 3 領域の実証機関の選定の観点については、平成 30 年度の実施要領にて選定するため、改訂はしないものとする。

2. 申請書の改訂のポイント

- ポイント 1 : 重複する箇所の整合化
- ポイント 2 : 経理事務等の情報の簡素化
- ポイント 3 : 個人情報が含まれる資料(卒業証明書・資格等)の簡素化
- ポイント 4 : その他の添付書類の簡素化

3. 改訂点(大きな改訂箇所)

現行	改訂案
担当職員及び業務経歴の箇所 ・申請書に記載のうえ、別途、添付書類として、経歴書等を添付させていた。(重複していた。)	・申請書の中で、実証予定の技術のみ経歴等を記載することとする。
経理事務等の情報の箇所 ・経理事務担当職員の業務経歴や資格等の記載の項目があった。	・業務経歴や資格は不要として、記載欄を削除する。
個人情報が含まれている資料(卒業証明書・資格等) ・証明のため、添付させていた。	・添付なしとする。 なお、添付なしとした場合、詐称等の観点から、誓約書の欄を作成する。 ※資格証明書は、任意で添付してもらうこととする。
その他の添付資料 ・監査報告書、組織図、定款、業務報告書又は事業報告書 証明のため、添付させていた。 ・環境技術実証モデル事業・実証事業に関する業務の実績または実証機関の業務に類似する業務の契約書の写し	・左記の書類等は、申請者のウェブサイトに掲載しているケースが多いため、URL を記載してもらうこととする。なお、ウェブサイトに掲載していない場合は、添付してもらうこととする。 ・添付なしとする。 なお、添付なしとした場合、詐称等の観点から、誓約書の欄を作成する。